

## R元年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

### 1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市デイサービスセンター 寿楽				
所在地	生駒市有里町95番地2				
指定管理者名	社会福祉法人 宝山寺福祉事業団	指定期間	開始日	平成 28 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 3 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 4 年目		
設置目的	老人福祉法（昭和38年法律第133号）第15条第2項の規定により、本市に老人デイサービスセンターを設置				
主な実施事業等	入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導等を行う事業その他市長が必要と認める事業。				

### 2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
要支援者・要介護者	人	7,400	7,545	105.9%	利用者の増加

### 3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	77,789,000	78,403,818	75,860,661
指定管理料				
利用料金収入	C	76,918,000	77,498,956	74,804,032
自主事業収入				
その他		871,000	904,862	1,056,629
支出計	B	78,489,000	78,969,256	77,578,909
指定事業費		78,489,000	78,969,256	77,578,909
うち人件費	D	5,823,000	57,481,050	58,627,534
うち再委託料	E			
自主事業費				
事業収支	A-B	-700,000	-565,438	-1,718,248
利用料金比率	C/A	0.989	0.988	0.986
人件費比率	D/B	0.074	0.728	0.756
再委託費比率	E/B			
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

### 4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置	その他(カンファレンス等)
実施結果	意見内容等		対応実績等	
	・アンケート別紙参照 ・(利用者からの聞き取り) 買い物に行きたいなど		利用者の些細な要望にも応えるようにしている。 (買い物等)	

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
	各法令の目的に沿った事業運営を実施、また当年の事業計画にも沿って事業運営を行っている。
市の評価	
	通所介護施設としてよりよい介護サービスの提供に向け、多様化する利用者のニーズに柔軟に対応した事業運営に取り組んでいただいている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
	ケアマネから依頼のあった高齢者には、ハード的・医療的ケアの必要な高齢者に対してもどのようにすれば利用してもらえるのか考え、できる限り利用できるようにしている。
市の評価	
	介護保険制度及び市条例を遵守し、市民の平等な利用の確保に努めていただいている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
	利用者を意識したケアの提供を意識し、ニーズ把握に努め、個々の職員の判断でできることは、すぐに提供するように心がけている。
市の評価	
	介護サービスの質の向上に向けて職員のスキルアップや、丁寧な対応を心がけ、利用者の立場に立った運営に努めていただいている。また、苦情に対しても迅速な対応を行っていただいている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
	継続して、光熱水費等の使用量の前年比較できるグラフと作成し、削減・維持に努めている。設備・機器等の経年劣化による修理修繕・取替えが顕著に増額している。
市の評価	
	生駒市環境マネジメントシステムに基づき、光熱水費節減向けの状況把握を行うとともに、経年劣化が進む施設や設備の適切な管理に努め、不具合等に関する市への報告も適切に行っていただいている。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
	定期的な居宅支援事業所への訪問を継続し、事業所のアピールを継続している。ケアマネジャーには、報告・連絡を強化している。結果として、利用者の微増に転じている。
市の評価	
	利用者増加に向けてニーズへの対応を心がけ、居宅支援事業所への活発な働きかけにより利用者の獲得に取り組まれている。また、ケアマネジャーとの密な連携により利用者ニーズへの速やかな介護サービスの提供につながっている。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
	人員については基準以上の職員を配置し、法人内外への研修にも参加し、職員のスキルアップに努めている。地域との交流として秋祭りを実施していたが、諸問題により中止したが、地域子ども会と合同で、餅つきを実施した。また、生駒市ケアリンピックでは、法人内デイサービス合同での取り組みを発表した。
市の評価	
	人員確保や余裕のある人員配置に努めていただき、職員のスキルアップに向けた研修も積極的に行っていただいている。地域住民との交流イベントの開催や、生駒市主催事業にも積極的に参加いただき、地域住民との連携を大切にいただいている。また、法人内の他施設と連携し、より良い施設運営に組織力を生かしていただいている。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
市の評価	
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	
	年2回の防災訓練を実施している。個人情報に関しては、法人の指針を周知徹底している。年度末には、救急救命講習を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症のため、延期をした。万一の事故発生時には、些細な事故・ケガであっても家族・ケアマネへの連絡を徹底し、当然であるが、医療機関等への受診も行っている。

市の評価	「防災訓練」及び「事故発生時の連絡体制の徹底」により、安全管理・危機管理体制を整備いただいている。また、個人情報保護等情報管理についても適切に取り扱っていただいている。新型コロナウイルス感染症予防対策についても、市と連携し感染予防等臨機応変に対応いただいている。
サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	前年比で、利用者微増しているが、年度末からの新型コロナウイルス感染症のため、利用者の減少があった。当法人の事業規模からして、事業継続は可能だと感じている。
市の評価	利用者の増加に向けて取り組むなど安定した運営に向け努力していただいている。なお、この度は新型コロナウイルス感染症等の影響による利用者減少等、予測が困難な状況や、施設運営における様々な負担増が生じていると感じている。

## 6 指定管理者の財務の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
資産	6,223,285,746	6,307,160,673	6,298,824,088
流動資産	903,459,290	990,597,664	956,779,777
固定資産	5,319,826,456	5,316,563,009	5,342,044,311
負債	544,395,018	576,853,152	469,774,580
流動負債	325,182,311	387,677,772	298,118,726
固定負債	219,212,707	189,175,380	171,655,854
純資産	5,678,890,728	5,730,307,521	5,829,049,508
基本金	778,885,360	778,885,360	778,885,360
事業活動収入	3,390,553,198	3,468,383,619	3,618,231,453
経常収支差額	70,286,212	139,691,188	190,986,738

## 7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成28年度	平成29年度	令和元年度
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	9.6%	10.1%	8.1%
固定比率 固定資産/純資産×100	93.7%	92.8%	91.6%
流動比率 流動資産/流動負債×100	277.8%	255.5%	320.9%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	90.2%	89.8%	89.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	54.5%	55.0%	57.4%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	1.1%	2.2%	3.0%

## 8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	居宅支援事業所への訪問、各ケアマネや家族との連絡等の強化を継続したことで、利用者は微増している。今後もこの取り組みは継続し、地域の高齢者の生活を支えていることを意識してサービス提供に努めていきたい。ADLが重度化、医療的ケアの提供も増加している中、職員一人一人の意識やスキルの向上も今以上に必要である。昨今の新型コロナウイルス感染症等の感染症対策も今以上に強化していかないと感じ、法人内の高齢者事業所と連携し、拡大防止や衛生品の調達や備蓄にも尽力していく必要を感じている。また、設備機器の経年劣化が多々見受けられるが、対応部品の製造中止もあり、対応に苦慮している。建物本体に関しても、劣化等も多々みられている。
市の評価	常に前向きにより良いサービスの提供に向け取り組んでいただいている。職員の能力向上や、居宅支援事業所及びケアマネージャーとの連携など、様々な工夫により引き続き、高齢者の日常生活を細やかに支えていただける施設としての運営に向け努力いただいている。 老朽化がすすむ施設管理については情報共有を図ってきたい。また、新型コロナウイルス感染症予防対策等については情報共有等市との連携により対応をお願いしたい。